

こうめどう もち 小梅堂きび餅



● 歴史

今から約800年前に、源頼朝という偉い人が石橋山の合戦(昔の戦争)に負けてしまったとき、湯河原で大きな力を持っていた土肥実平という人に導かれて、湯河原のしとどの窟にかくれて、九死に一生を得ました。



- ・源頼朝ってどんな人だったんだろう？
- ・「しとどの窟」はチェックポイントにもあった場所だね！



その時、この実平の奥さんがひそかに「きび餅」を作って持っていき、頼朝の飢えをしのいだといわれています。

それから湯河原のお菓子職人の手により、現在の「きび餅」が出来上がりました！

普段から何気なく口にしている食べ物にもいろいろな歴史が隠れているんだ！

昔の人はどんな食べ物を食べていたのか？

どうやっておいしく食べる工夫をしてるのか？

食べ物と地域の歴史がどのようにつながっているのか？

いろいろと調べてみよう！

● 地域や、地域の人とのかかわり

きび餅は湯河原温泉と関わりの深い多くの人や多くの観光客に愛されてき

ました。現在も「かながわの名産100選」や「made in ゆがわら」にも認定

されていて、湯河原温泉のお土産として一番人気の商品です。

きびは米が育たない山でも育てることができたので、昔から日本各地で食

べられていました。きびは、それだけで食べるとお米よりも粒が小さく、あ

まり歯ごたえがなく、それほどおいしいものではありません。しかし、栄養

があり、カロリーが低く、火が通りやすく、粘りも出るため、餅や和菓子に

は向いている食材と言われています。また、最近では健康食としても注

目を集めています！

● 関連するチェックポイント

・土肥実平像・・・きび餅はしとどの産地で土肥実平が隠れていた時に食べてい

たお菓子です。

・しとどの^{いわや}窟^{もち}・・きび餅^{いわや}はしとどの^{と いさねひら}窟^{かく}で土肥実平が隠れていた^{とき}時に^た食べてい
たお菓子^{かし}です。